

令和5年度生野区区政会議(第2回くらしの安全・安心部会) 主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和5年12月18日(月)

開催場所:生野区役所 6階 604・605会議室

カテゴリ	主なご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
防災	<p>ジュニア災害リーダーの育成について、これは大変すばらしいことだと思う。中学生は地元において、大きな戦力になる。消防署や行政が中学校で防災の講習や講義などをすすめる際に、直接中学生に対し、地域防災活動への協力について話し、育成につなげていくとよいのではないかと思う。</p>	<p>生野区では早い段階からの防災に対する意識を育て、地震・風水害に対する防災、減災等への取組みに対し、自発的に活動する担い手を育成するため、地域の中学生の防災意識の醸成と防災体制の強化、知識、技能の向上をめざすことを目的として、今年度から中学生等を対象とした「生野区ジュニア災害リーダー(通称JDL)」の取組を進めており、若い世代の防災意識向上に努めております。今後も、中学生等を対象に募集を行い、拡充、育成に繋げていけるよう努めてまいります。</p>
	<p>防災リーダーについて、各町会で一番問題になっているのは人材不足。若い人が入ってこないため、生活に密着した防災や防犯活動は難しい。</p>	
	<p>各連合に青少年指導委員や青少年福祉委員がいると思うので、おそらく生野区で160人ぐらいいると思うので、その辺との関係をつないで、そういった方を防災リーダーに引っ張っていくとか、連携していくというのも1つの手じゃないかなと思う。</p>	
	<p>防災訓練の際、防災物品、災害避難の物資の不足を感じた。また、場所の分かりにくさもあったため、今一度災害時避難所、小学校、中学校での防災訓練の物資の充実と訓練の実施をお願いしたい。</p>	
	<p>災害時避難所では、日本語、ハングル語、中国語以外の外国語がかなり必要かなと思う。 外国人学生が多い大阪わかば高校の学生たちに、ある程度、災害時の避難等の方法を教えれば、その学生たちの国の友達、もしくは仲間など、横のつながりで、伝わっていくのではないか。</p>	
防犯	<p>防犯カメラの維持管理ももちろんだが、犯罪抑止のために増設についても検討してほしい。 区全域一斉パトロールについても、やるのが目的ではなく、その意義を明確にしてほしい。</p>	<p>防犯カメラにつきましては、区役所で4年間で102台、区内に設置しており、今年度以降の維持管理を進めてまいります。また、増設につきましては、今後ご意見を踏まえながら検討を進めていきたいと考えております。 一斉パトロールにつきましては、パトロールに合わせて防災行政無線の訓練を実施しております。また、パトロールにつきましても、災害時の際の地域の一時避難場所に集合していただいて避難所に向かうというような形のパトロールということで、防犯と防災のそれぞれの意識向上を目的に一体とした形で実施しております。</p>

カテゴリ	主なご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
特定健診・がん検診	<p>「特定健診を受けましょう」、「がん検診を受けましょう」と言われて、じゃあその健(検)診で、一体自分の体の何がわかって、何が助かって、どんなことが起こるかということを知る方は多くない。それが更に回覧板のお知らせなどで回ってきた場合、その文字だけ見て、自分に関係あると思う人はさらに少ないと思う。実際に受診することでどんなメリットがあるのか、もっと分かりやすい言葉で、キャッチコピーみたいなもので、テレビのCMを見るかのごとく、理解しやすいような表現で伝える必要があると思う。</p>	<p>特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した健康診査で、身体計測、尿検査、血液検査等により、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的としております。</p> <p>がん検診については、がんの早期発見・早期治療を可能にし、がんによる死亡を減少させることを目的として実施しており、早期発見によりがんになる手前の状態を治療することでがんになることを防いだり、がんであっても体に負担の少ない治療法を選択できたりするなどのメリットがあります。</p> <p>今後、キャッチコピーを作成し、より効果的な受診勧奨に努めるとともに、土日や午後等受診しやすい環境づくりに取り組んでまいります。</p>
	<p>実際にがんを体験された人の声を、伝えてあげられる機会があればいいと思う。</p>	<p>実際にがんを体験された方のお声については、広報紙特集号にて掲載させていただきましたが、今後、がん検診啓発チラシ等でも掲載し、検診の重要性を周知してまいります。</p>
	<p>特定健診やがん健診の受診率が低いとのことだが、高齢者はだいたいマイドクターを持っている。あまり受診率を気にしないでいいのではないかな。</p>	<p>特定健診については、自分の身体の変化をチェックし、生活習慣病を予防するために、持病で通院中の方も対象となっており、年に1回の受診を勧奨しております。また、生活習慣病の発症リスクが高い一部の方に対し、生活習慣を見直すサポートとして特定保健指導を行っておりますので、マイドクターをお持ちの方もぜひ受けていただきたいと考えております。</p> <p>がんは、自覚症状が出てから見つかった場合、進行がんとなっている割合が多く、早期のうちに発見できる期間はわずか1～2年です。定期的な検診により、がんで亡くなるリスクを減らすことができるため、今後も多くの区民の方に受診していただけるよう取り組んでまいります。</p>
地域福祉	<p>福祉コーディネーターをしている。見守り支援で、まだ支援につながっていない独居の方の情報を知りたいが、地域から名簿をいただけない現実がある。災害時に避難するときに、車いすがいる方、手助けがいる方というのを探しておきたいので、行政から各町会に呼びかけるなどの後押しをしてほしい。</p>	<p>「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」の要援護者名簿を提供できる方は、まちづくり協議会などの見守り活動を行う団体として区が認定する地域団体に属する方や民生委員・児童委員の方となっており、実際に要援護者名簿を閲覧できる方については各まちづくり協議会で決定されております。</p> <p>日頃からの地域における見守り活動がすすむように、いただいたご意見は各まちづくり協議会にお伝えさせていただきます。</p>
	<p>ヤングケアラーの問題もあるが、ミドルケアラーについても何らかの対策を考えてほしい。親の介護と仕事の両立はとても大変。介護やヘルパーも利用するが、それだけでは賄えないこともある。</p>	<p>大阪市では、介護を要する高齢者を在宅で介護している家族に、適切な介護知識・技術・各種サービスの利用方法等の在宅介護に関する情報交換・意見交換を行う機会の提供等を通じて、家族介護者の介護負担の軽減、介護離職の防止及び心身のリフレッシュを図るとともに、認知症の理解促進や当事者組織の育成・支援を行うことを目的とした「大阪市家族介護支援事業」を、地域包括センターを運営する法人に委託し実施しています。</p> <p>事業の内容の一例ですが、講演会や研修会、交流会の開催や、リーフレットの作成などが実施されています。</p>

カテゴリ	主なご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
多文化共生	<p>地域で外国人が増えているが、直接関わる機会がない。外国人は当事者コミュニティで固まってしまうので、地域に入ってくることはない。地域のゴミ出しのルールとか伝えるのが大変である。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。 生野区役所では、来庁された方が自由にお取りいただけるよう、1階にパンフレットやチラシ類を配架しており、その中に環境局の「ごみのマナーABC」のパンフレットも設置しております。</p> <p>また、外国籍の方向けの情報コーナーを別で設けており、「ごみのマナーABC」の外国語版(4カ国)もその中に配架しております。SNSを活用した情報発信としては、月1回ごみのマナーについて、やさしいにほんごのページのリンク先をお知らせするtweetをおこなっています。</p>
	<p>たとえば外国人の方が、区役所に住民登録などの手続きに来られた際、居住する地域のゴミ出しルールを合わせて伝えるとか、区役所でもそういう工夫をしてほしい。</p>	<p>転入時には、「ごみのマナーABC」外国語版(4カ国)のほか、生活全般にわたる行政手続き等が掲載された「くらしの便利帳」及び「おやくだち情報」(いずれも多言語版)によるのチラシをお渡ししていますが、今回のご意見にもありますように、外国籍の方々になかなか伝わりにくいという現状を踏まえ、転入時のみならず、外国籍の方に少しでもわかりやすくルールを伝えられるよう今後も工夫してまいります。</p>
	<p>これだけ多くの多文化な背景を持つ人々が住んでるということは、すごい可能性にも富むことなので、その人たちが何か支援の対象じゃなくて、パートナーであるというか、その人たちの経験を聞いてどう対応すべきかが分かるので、今回ニーズ調査をされるということで、むしろどういうふうに力になってもらえるかという、そういう観点でも調査をしてみてもいいのでは。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。 外国人も日本人も地域の一員として一緒に考え、まちづくりに参加していただけるよう、来年度実施予定のニーズ調査では、今回のご意見もふまえて質問項目を検討してまいります。</p>